

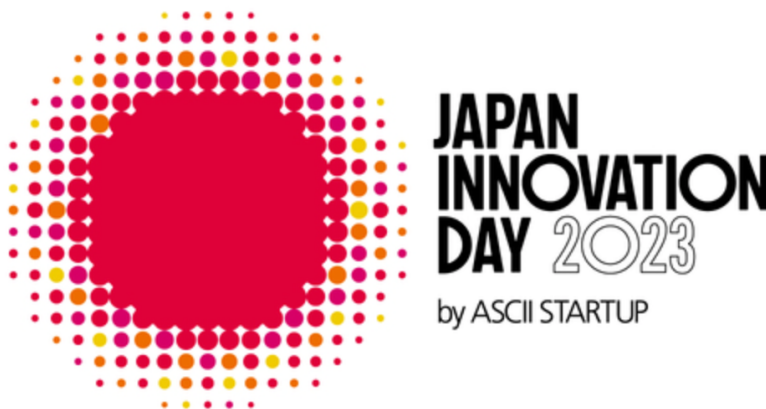
先端テクノロジーが集結するスタートアップ展示カンファレンス
『JAPAN INNOVATION DAY 2023』のご案内

スタートアップ約70社の出展と識者30人以上が登壇
2023年3月3日（金）10:00～18:00 東京・赤坂会場

株式会社角川アスキー総合研究所は、先端テクノロジー関連事業者の展示交流、ビジネスカンファレンスイベント『JAPAN INNOVATION DAY 2023』を、2023年3月3日に赤坂インターシティコンファレンスで開催します。

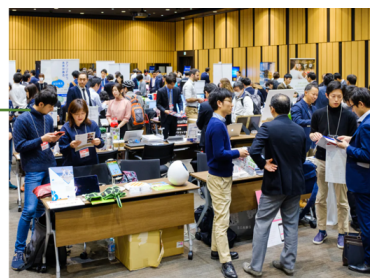
本イベントは、幅広い分野での先端テクノロジーにおけるビジネスマッチングとオープンイノベーションの推進を目的に、多数の先進スタートアップによる先端テクノロジーや製品、ビジネスソリューションなどの会場展示と多様なセッションを実施します。

5回目の開催となる今回は、約70社の先端スタートアップ企業の出展に加え、各業界の識者を招いて幅広いジャンルのセッションを実施します。国内における最新のイノベティブなサービスやソリューションを、開発者や開発企業の関係者が直接ご説明します。ぜひ取材のご検討をお願いいたします。



こんな方を対象にしたイベントです

- ・ビジネスとして、イノベーション推進に関わる企業関係者
- ・企業内の新規事業・投資部門・購買などの担当者
- ・スタートアップ関係者
- ・起業を考えている方
- ・X-TECHに興味のあるビジネスマン・エンジニア
- ・イノベティブなサービスや製品、ビジネスのシーズに関心がある方



出展

多数の先進スタートアップによる各種AIソリューション、IoTハードウェア関連、ヘルステック、XR（クロスリアリティ）、HR、ロボットを始めとする先進的な技術やサービス、プロダクトの展示やデモンストラレーションを予定しています。オールジャンルに展開するイノベティブなテクノロジートレンドの先端を、展示会場でリアルに体験していただけます。

<協賛企業>

株式会社 PR TIMES、TIS 株式会社

<パートナー>

特許庁総務部企画調査課 スタートアップ支援班、オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 (JOIC)

<スタートアップ協賛企業>

NABLAS 株式会社

<以下アルファベット順/50音順>

株式会社 A、株式会社 ABABA、株式会社 AnchorZ、株式会社 Another works、Beatrust 株式会社、BIRD INITIATIVE 株式会社、株式会社 CyberneX、株式会社 CYBO、株式会社 Engineerforce、fabula 株式会社、Fiom 合同会社、FutuRocket 株式会社、株式会社 GAZIRU、株式会社 Hakobot、株式会社 HealthCareGate、株式会社 Hogetic Lab、株式会社 IKETEL、株式会社 Kotonaru、株式会社 Laspy、株式会社 LeanGo、LOOVIC 株式会社、株式会社 miive、株式会社 Neulab、NNI パテントプール株式会社、ORIME、remot3.it, Inc.、株式会社 SandBox、株式会社 SHO-CASE、SOINN 株式会社、株式会社 Srush、Sustineri 株式会社、TETSUJIN – AUDIO VISUAL、TieUps 株式会社、株式会社 UPSIDER、株式会社 Urth、株式会社 VRC、株式会社 WizWe、株式会社 X、株式会社 xCura、株式会社 Xenoma、Yoom 株式会社、Zuva 株式会社、アイリス株式会社、アグリショット株式会社、株式会社アソビズ、株式会社エイ・オー・テクノロジーズ、エバーブルーテクノロジーズ株式会社、株式会社エンタップ、香川大学、合同会社学生ギルド、株式会社キッズプレート、グランドグリーン株式会社、株式会社シェアウィズ、シンクロア株式会社、セールスワン株式会社、田畑の聴診器、一般社団法人炭素回収技術研究機構、株式会社テイラーワークス、東北大学/ビヨンドエス株式会社、パーキングサイエンス株式会社、バタフライボード株式会社、株式会社羽生田鉄工所 コンポジットセンター、株式会社パルケ、ヒラソル・エナジー株式会社、株式会社フィッシュパス、株式会社フィルズ、ブルーイノベーション株式会社、株式会社ミライ菜園、横濱ベイサイドギターワークス合同会社、レイワセダ株式会社

セッション

WEB3での起業、スタートアップ育成5か年計画と起業家教育、SaMDの可能性、海外カンファレンスの現在、地方エコシステム、出展企業から登壇するショーケース、さらにはオープンイノベーションから知財戦略まで、トレンドをおさえた幅広いジャンルのセッションを実施します。

<10:00-10:30> [A01]

オープニング「ASCII STARTUP が見据える3年先のイノベーションシーン」

ASCII STARTUP では、取材を通じて3年先には当たり前になっているような製品、サービス、ソリューション、トレンドをお届けしています。ビジネストrendを反映する「JAPAN INNOVAITON DAY」各種セッションのオープニングとして、ASCII STARTUP 編集の北島幹雄とガチ鈴木が登壇。この1年を振り返りながら、3年後を見据えたイノベーションシーンの未来像に迫っていきます。

<10:30-11:00> [B01]

JAPAN INNOVAITON DAY 2023 スタートアップショーケース Vol.01~AI編~

「JAPAN INNOVATION DAY 2023」の出展ブースから、次世代の先端テクノロジーをもつ企業5社が登壇し、プレゼンテーションを実施。自社のサービス、製品、ソリューションなどを紹介します。

<11:00-11:30> [A02]

地域活性のためのスタートアップエコシステム

内閣府が選定した「世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成」の発表から3年が経過し、各地域のスタートアップ支援施策はさまざまな形で広がりを見せています。本セッションではスタートアップエコシステム構築の自治体担当者が登壇し、ユニコーン創出、大学発シーズのビジネス化、実証実験フィールド設置など地域活性につながるエコシステム構築のための施策、取り組みの内容などの話を伺いながら、次世代における地域の在り方やカタチを探っていきます。

<11:30-12:00> [B02]

若手起業家はなぜWEB3で起業するのか？

2022年はWEB3の起業が大きく前進しました。リアルイベントの再開が進むことにより、改めて「場」や「機会」の重要性が再確認され、WEB3若手起業家やクリエイターを中心としたコミュニティの活発化がその要因の一つとされています。しかしWEB3は国内で規制緩和が進む中、国外への起業家の流出も続いています。WEB3は本当にいま取り組むべきなのか、WEB3の進展に必要なことをコミュニティから考えます。

<12:00-12:30> [A03]

国も進めるスタートアップ戦略。その一環として、起業家教育がなぜ必要か

2022年に発表された「スタートアップ育成5か年計画」は、スタートアップへの投資額を現状の10倍となる10兆円規模とし、スタートアップ10万社、ユニコーン100社を創出するという目標が掲げられています。5年先、10年先を見据えた起業家育成に向けて、起業を選択肢と知るアントレプレナーシップを持つ若者の育成について、国や高校生の視点でその取り組みや効果について紹介します。

<12:30-13:00> [B03]

JAPAN INNOVAITON DAY 2023 スタートアップショーケース Vol.02～若手&学生起業家編～

出展ブースから、AI(人工知能)を活用したソリューションを展開する企業5社が登壇し、プレゼンテーションを実施。自社のサービス、製品、ソリューションなどを紹介します。

<13:00-13:45> [A04]

オープンイノベーションプログラム“ExTorch”における多様化する社会、地域課題解決に向けた取り組み by NTTコミュニケーションズ

「Extoch(エクストーチ)」は、NTTドコモグループと社外の技術・サービスを掛け合わせ、新たな価値を共創するオープンイノベーションプログラムです。サービス・プロダクトを社会実装し、事業化することをゴールとしています。本プログラムについて、これまでの取り組み内容や今後の展望など実担当の生の声をお届けします。後半では、2022年度より共創を進めている福祉機器の企画開発を進める、株式会社マリス creative design の和田様をお招きし、現在の共創状況についてお話しします。

<14:00-14:30> [B04]

大手企業とスタートアップがwin-winな関係を築くには

大手企業とスタートアップ企業の立ち位置の違いから、新規事業担当、CVC担当者など、すれ違うケースはまだ多いのが現状です。大手企業側の担当者として知っておきたいスタートアップのビジネス手法や、もっておきたい共創事業を進めるうえのコツを識者に伺います。

<15:00-17:30>

IPナレッジカンファレンス for Startup 2023

ピクシーダストテクノロジーズやSplinkなどのグランプリを輩出したスタートアップと、知財のアワードである「第4回IP BASE AWARD」授賞式を行い、各部門受賞者の取組を共有するセッションです。後半には受賞者や選考委員を交え、最前線のスタートアップにとって必要な知財戦略、また事業戦略まで踏み込んだ専門家等の支援の在り方についてのパネルディスカッションを実施します。

<登壇者>

鮫島 正洋 氏 / 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー弁護士・弁理士

加藤 由紀子 氏 / SBIインベストメント株式会社 執行役員 CVC事業部長

藤木 実 氏 / 株式会社IP Bridge 代表取締役

丹羽 匡孝 氏 / シグマ国際特許事務所 パートナー弁理

高宮 慎一 氏 / グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表パートナー

<15:00-15:30> [B05]

実践者が語る～医療AI・SaMDを日本の次なる産業とするために

2022年12月の規制改革推進会議において、岸田総理からも、医療AIやSaMDの大幅な規制緩和の発言があり、注目が集まっているデジタル医療。各社の取り組みや、この領域が日本の次の産業となるために必要なことは何か、医療AIやSaMDを実践するスタートアップ企業や、デジタル医療に積極投資するベンチャーキャピタルによるディスカッションを行います。

<16:00-16:30> [B06]

最新版、海外カンファレンス活用術

ポストコロナの現在、企業活動としても各種海外展示会への参加が再開されました。特に2023年1月に開催されたCESでは日本企業の出展も多く、今後も海外展示会への参加は活発になっていくでしょう。

オンライン参加も可能となり、その在り方も変わった海外の展示会を、参加者はどう活用しているのか、近況報告からその活用術を語っていきます。

開催概要

日時：2023年3月3日（金）開場 10:00 閉場18:00(予定)

会場：赤坂インターシティカンファレンス

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 4F

※東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」直結。 ※東京メトロ千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」直結

会場アクセスリンク：<https://aicc.tokyo/access/>

参加方法：事前登録制 <Peatix> <https://jid2023.peatix.com>

一般チケット：無料（限定 1,000 名）

「展示会場への入場」 + 「公開セッションの聴講」 + 「出展者総覧資料」

ミートアップチケット：有料／税込 5000 円（※残席なくなり次第、受付終了予定）

「展示会場への入場」 + 「公開セッションの聴講」 + 「出展者総覧資料」 + 「限定ミートアップへの参加」（18:00～19:30 予定）

※上記の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※ご来場の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

主催：ASCII STARTUP

協賛：NTTコミュニケーションズ、PR TIMES、TIS

協力：City-Tech.Tokyo、COMPASS小倉、formrun、Fukuoka Growth Next、IT-Farm、NINNO（新潟県）、Peatix Japan、SENTAN（豊田市）、U30関西起業家コミュニティ、XTC JAPAN、YOXO BOX（横浜市）、大阪イノベーションハブ、オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会（JOIC）、京都リサーチパーク、独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部、ユニコーンファーム、MITテクノロジーレビュー、異能（Inno）vation、角川ドワンゴ学園 N/S高 起業部

同時開催：IPナレッジカンファレンス

※出展内容や各セッションの詳細に関しては公式サイトをご参照ください

■JAPAN INNOVATION DAY 2023 公式サイト

<https://jid-ascii.com/>

FAX 送信先：03-5840-7812

JAPAN INNOVATION DAY 2023

取材お申し込み書

準備の都合上、誠に勝手ながら3月2日（木）までにWEBフォームまたはFAXにてお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

WEB フォーム：<https://forms.gle/piM7TC3x62NEQ5mb6>

※個別取材をご希望の場合は取材内容についてご記入ください。

貴社名

媒体名(所属)

氏名（複数の場合は代表者）

出席者数

当日連絡先電話番号

メールアドレス

撮影機材

ムービー

スチル

ペンのみ

ご案内

日時：2023年3月3日（金）開場 10:00 閉場18:00(予定)

会場：赤坂インターシティコンファレンス

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 4F

※東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」直結。 ※東京メトロ千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」直結

会場アクセスリンク：<https://aicc.tokyo/access/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当：堀

携帯：070-1529-7134 E-mail：press-cp@lab-kadokawa.com

★JID2023 おすすめ展示

※ツールやハード系

PAPERJACKETR by BUTTERFLYBOARDR

“Hello, idea”をコンセプトに、アイデアに出会う道具を進化させているバタフライボードが、「マグネット×てこの原理」の新構造で、あらゆる用紙をミニマルにノート化する『PAPERJACKETR』に加え、2023年3月発表予定の新製品をいち早く展示致します。

イヤホン型 BCI XHOLOS

CyberneXは、イヤホン型 Brain Computer Interface XHOLOSを開発し、脳情報を日常に開放するブレインテックスタートアップです。

XHOLOSは、これまでハードルの高かった脳情報へのアクセスをイヤホンを着けるだけで実現し、人間の内面の理解や人々のありたい姿への進化を支援します。

エバーブルーテクノロジーズ

エバーブルーテクノロジーズは、再生可能エネルギーを使った自動操船ヨットの実現により、地球温暖化の原因となる排出ガスを抑制することで、自然とともに歩む豊かな未来に繋がえることをミッションとしています。風力をダイレクトに動力として利用した帆走の自動化技術を中心に水上ドローンモビリティの技術開発で様々な社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献します。

今回の出展は、船体や推進方法にこだわらずドローン化することができる自動帆船化ユニットとオリジナルアプリをベースにした、帆船型ドローンモデルおよび、パワーボート型ドローンモデルを紹介します。

3 誘導ホルター心電図 郵送検査サービス e-skin ECG

私たちはスマートアパレル e-skin を用いたヘルスケアサービスを提供しています。目指すのは「いつもの生活が予防医療になる」世界です。スマートアパレル「e-skin”イースキン”」は普段着のような着心地で、お手入れも簡単なヘルスケアデータを計測できる服です。

e-skin を着ているだけで病気を早期に発見し、早期に治療に繋げる

長く健康的な生活を送ることができる そんな世界を作っていきます。

今回の展示では、慶應義塾大学病院と共同して行った、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」に関する研究に基づき、有用性検証を経てサービス化したホルター（24時間）心電図の郵送検査サービス e-skin ECG を紹介予定です

※地域課題解決系

フィッシュパス

漁協や釣り人に便利な機能を搭載したスマートフォンアプリ「フィッシュパス」を展開。日本各地で起きている川の荒廃という課題に加え、これまで現地の商店でしか購入することのできなかつた遊漁券のデジタル化を進め、全国の漁協をサポートし、課題解決している。現在フィッシュパスでは、全国の川・湖沼の漁業協同組合と龍谷大学山中研究室と連携して、最先端科学である環境DNA技術を使い、日本中の川と湖沼の生態系を明らかにし、水産資源保護と環境改善を実現する。

樹液流モニタリングシステム

和歌山を拠点に、果樹園の生産性を高めるべく農業IoTツールを駆使して畑の中で起きていることをHackします。果樹が根から吸い上げている樹液の流量をリアルタイムで計測する樹液流センサを開発し（知財取得済）、植物用の聴診器として使用することでプラントヘルスケアの普及に努めています。会場では研究用ハウス内で計測中のデータをデモ致します。

※先端技術系（AI、Health、VR、ゲノム編集、細胞解析）

GAZIRU 個体識別サービス

画像認識技術を駆使した GAZIRU 個体識別サービスが解決できることは、レーザー刻印できないもの、QR コードや RFID を取り付けられないものに対して、各々物体自体のもつ個体表面情報から個体識別を実現します。これにより、認識対象にタグ（刻印、QR コードおよび RFID など）を付加することなくトレーサビリティを実現します。

→GAZIRU 個体識別サービスは、新しいトレーサビリティ管理を実現します。

アイリス - AI を用いた感染症診断

アイリスは、「みんなで共創できる、ひらかれた医療をつくる。」をミッションに掲げ、深層学習（人工知能）の技術を活用し、医師のもつ匠の技をデジタル化する AI 医療機器を開発しています。2022 年 12 月には 1st プロダクトである AI を用いた感染症診断医療機器を上市しました。アイリスのミッションと目指す未来像を展示します。

株式会社 VRC

誰でも使える 3D フォトリアルなアバターと人間の身体に関する情報を取得するソリューション、及び様々な分野のサービスに直結するプラットフォーム事業を提供しております。ハードウェアスキャナは、0.2 秒でスキャン、20 秒で全てのデータ処理が完了し、取得したアバター及び身体データは、シームレスに様々なサービスに入れることができ、エンタメ、アパレル、ヘルスケア、メタバース等の分野に活用できるプラットフォームになっています。

セラピア VR～VR で痛い・怖い治療体験をエンターテイメントへ～

株式会社 xCura は、『テクノロジーによる痛み・不安の軽減』という理念のもと、痛みにこだわった事業展開を行なっております。

現在、展開している”セラピア VR”は、VR を装着しながら治療を受けることで、痛い・怖い治療体験をエンターテイメントに変え、楽しい治療体験を提供致します。

歯科治療や医療脱毛、ペインクリニックや老人ホームなどで使用されており、様々な種類の痛み・不安の軽減に取り組んでおります。”

株式会社 CYBO

CYBO は高速イメージングや AI などの先端技術を活用した細胞解析プラットフォームを開発しています。この独自技術を活用して、医師が診断や検査に用いるスライドグラス標本を、高精細な立体画像として高速デジタル化する SHIGI スキャナを実現しました。この SHIGI スキャナを活用して、がん研有明病院や東大病院などとの共同研究で大量の細胞画像を蓄積し、がんや血栓症を早期発見するための AI 医療機器の開発を進めています。

グランドグリーン株式会社

【実用作物・実用品種に直接利用可能なゲノム編集プラットフォーム Gene App】2020 年にノーベル化学賞を受賞したゲノム編集技術。農業の分野では、作物の狙った特徴を短期間で、ピンポイントに改良できる技術として期待されています。一方で、品種ごとにデリバリー法を検討する必要があり、実用品種への適用はいまだ限定的です。当社では、様々な作物品種に利用可能なゲノム編集プラットフォームを独自に開発しました。当システムを利用した作物の共同開発パートナーを産学問わず募集しています。